

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ほこほこ		公表日		2026年4月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		法令に遵守したスペースを確保しています。運動・学習・余暇などそれぞれに合わせ部屋を使い分け、個別対応等の配慮も行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		職員の体調不良等、急な欠動にも対応できるように指定基準以上の職員配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日掃除、消毒をしており清潔で過ごしやすい環境を維持しています。	利用児童の特性上、ゴミ箱を高い位置に置いているため、児童が捨てる際に机に乗ることがある。フタ付きにして下におろすなど改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		全体活動で療育室、個人課題で別室と両方使用している時に、クールダウンできる所が廊下になる。排泄時の更衣できる場所がトイレ内だと狭い。カーテンなどで目隠しになるスペースの検討。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		第三者の外部評価は行っていません。行政の事業所訪問で専門的な話が聞けたのは良かった。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		毎日出勤しているわけではないため支援の仕方が変更になっている時もあり、その都度確認しながら支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		スポーツ等、皆で分担することで固定化していないと思う。	分担が回ってきても非常勤職員は時間に制限があるので負担になることがある。何パターンかを用意し、週替わりで予定を立て、日々の担当者がアレンジを加えてはどうか。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		緊急性、安全に関する内容や共有事項に関しては一斉にメール連絡する等、必要に応じて対応しています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	緊急性、安全に関する内容や共有事項に関しては一斉にメール連絡する等、必要に応じて対応しています。	日々の業務の申し送りに参加できない職員にも対応できるよう、ルールの変更等はラインで共有する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8			地域交流の機会の提供を組み合わせる頻度が少ない。外出や公園など地域交流の機会を増やしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			児童発達支援管理責任者が参画しているが、可能なら直接支援を行う職員も同行できるように検討します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				現在該当する利用者がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		児童発達支援センター主催の研修会等に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		放課後児童クラブや児童館との交流の機会は設けていませんが外出や公園遊び等で地域、社会との関わりがもてるよう設定しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	ペアレントトレーニングという形ではありませんが適宜相談対応を行っています。外部より依頼のあった情報（チラシ）提供を行っています。	ペアレントトレーニングは行っておりません。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		8		父母会はありません。保護者会など保護者同士の交流は必要とされない方がおられるため、現在開催しておりません。今後、要望があれば検討していきたいと思えます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			昨年のご要望を踏まえイベント予定を事前に配布しております。HPやインスタグラムの更新は止まっております。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			他のスタッフが気を付けていることを知る機会を増やしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		地域の方のご招待は行っておりません。外出や公園遊び等で地域、社会との関わりがもてるよう設定しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			訓練の時間を設ける。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			療育室、車内等、色々なパターンで行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		今後も全体で留意していく。 医師の指示書をいただき、保護者と十分に確認し個別に対応しています。また職員間で共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		くれぐれも提供しないようクッキングの際には都度保護者に確認している 医師の指示書はいただいておりませんが保護者と十分に確認し個別に対応しています。また職員間で共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		緊急連絡先等、契約時の情報のため定期的に更新するなど検討します。	体調不良時に保護者と連絡がとれないことがある。 緊急連絡先を定期的に更新する。複数登録してもらう。 避難訓練等、活動の中で行っていますが、訓練実施の際、家族への周知ができていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			対象者がいれば慎重に検討を行い、本人・保護者へ十分に説明の上、支援計画書に記載します。